

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
問い合わせ 市広報秘書課 ☎43・8113



## みらいのふくつを描こう

ふくつ未来会議が始まりました



▲和やかな雰囲気ですさまざまな意見が交わされました

ふくつ未来会議は、新しいまちづくりに市民の皆さんにもっと関わってもらい、市の将来像と一緒に描いていきたいという市長の強い意志で開催されました。前半の「市民会議」と後半の「未来づくりワークショップ」の2部で構成されます。8月29日の市民会議では、津屋崎ブランチの山口代表を案内役に、無作為抽出で選ばれた61人の参加者が熱い意見を交わしました。

10月7日(土)からは公募した市民による「未来づくりワークショップ」が始まり、分野ごとの目標像について話し合います。募集は9月22日まででしたが、なるべく多くの市民の皆さんに参加していただきたいので、興味がある人はぜひお問い合わせください。これまでの10年を振り返り、これからの10年、20年を描いていきましょう。

問い合わせ 市行政経営企画課 ☎43・8121

## 秋の夜空を花火が彩る

福津市納涼花火大会



▲5,000発の花火が打ち上がりました

台風により延期されていた福津市納涼花火大会が、9月18日に行われました。前日は、またも台風が接近し開催が心配されましたが、当日は台風一過の快晴となり、福岡海水浴場から津屋崎海水浴場の海岸に集まった5万人(主催者発表)の観光客が、美しい花火を楽しみました。ドーンという音と色鮮やかな光が降り注ぐ中、ひととき大きな花火が打ち上がると、歓声や拍手が上がっていました。

## 日頃の訓練の成果を競う

女性消防操法大会



▲標的に向け素早く放水

県消防学校(嘉麻市)で8月27日に第3回福岡県女性消防操法大会が開催されました。市消防団の女性班も出場し、県内8チームの女性消防隊が放水技術を競い合いました。橋内京子班長は「残念ながら三位入賞はできませんでしたが、精いっぱい力を出し切りました。応援してください。今後とも地域の救命救急・防災活動に取り組みしていきたい」と思いを語りました。

## 登録をみんなで祝福

世界遺産登録記念式典



▲世界遺産登録の喜びやガイドのやりがいを語る有吉会長(右)

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を記念して、9月2日に宗像ユリックスで式典が開催されました。出席した市民や関係者ら約500人は、これまでの活動などを振り返り、喜びを分かち合いました。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録を記念して、9月2日に市観光ボランティアガイド会の有吉敏高会長は「古墳群にもたくさんの方が訪れています。この機会を福津市のPRにつなげていきたい」と語りました。また、

式典に先立って、県と両市、関係者などをつくる世界遺産推進会議があり、今後の資産の保存と活用に向けた協議会を、10月中旬に発足させることが決定しました。

## 五穀豊穡や家内安全を祈って

市内各地で秋祭り



▲太鼓の音に合わせて行われた獅子楽

秋の訪れを告げる秋祭りが、市内各所で開催され、金刀比羅神社では、9月9日に県内で最も早いといわれる秋祭りが行われました。境内で獅子楽などが行われた後、大名行列が五穀豊穡を祈願して津屋崎のまちを練り歩きました。行列には子どもたちの姿もあり、今後も地域の伝統を受け継いでほしいと思いました。

## これからもお元気で

100歳の市民を慶祝訪問



▲祝い状を手にする芹野さん(右から2人目)

今年度で100歳を迎える市民を9月13日、原崎市長と県職員が訪問し、祝い状を渡しました。4月で100歳になった芹野勝三さん(東町2区)は、地元でグラウンドゴルフの活動を立ち上げ、2年前までは毎日参加していたそうです。「長生きの秘訣は、体を動かすことです」と、笑顔で語ってくれました。